

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	公立保育所施設整備事業	会計	一般会計	事業No.	157	施策順No.	37-003
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-6-10-3		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	3	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・公立保育園21園						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		公立保育所の数	21	21	21	20	20	
	意図	・保育が支障なくできる施設環境を整える。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	保育に支障がない施設数/公立保育所数	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		公立保育所のうち、木造5園は22年度をもって耐震改修が完了した。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 施設改修の必要が生じた箇所を大規模に改修し、安全で良好な保育環境を整備する。 多様化する保育要望を見極めつつ、必要なサービスを提供できる施設環境を整える。 定期的な補修、または大規模な改修等により、施設の耐用年数を延ばす。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 施設改修・修繕工事 19,601千円 屋根塗装、プール塗装など	1 実施予定園数	1 20園
	2 川路保育園改修工事 3,171千円 21→22繰越明許 トイレ改修ほか、単独事業	2 実施予定園数	2 1園
	3 遊具の撤去、改修及び新設 5,000千円 21→22繰越明許 地域活性化・きめ細やかな交付金事業	3 実施予定園数	3 10園
	4 木造4園大規模改修工事 128,100千円 上久堅・川路・三穂・殿岡 21→22繰越明許 地域活性化・経済危機対策臨時交付金	4 実施予定園数	4 4園
23年度実施計画	1 施設改修・修繕工事 15,700千円 屋根塗装、プール塗装など	1 実施予定園数	1 20園
	2 遊具の撤去、改修及び新設 5,000千円 H22は地域活性化・きめ細やかな交付金事業で対応 H23からは単独事業として継続	2 実施予定園数	2 20園
	3 下久堅保育園改修事業 22→23 繰越明許費 9,500千円	3 実施予定園数	3 1園

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)H21→22 地域活性化・きめ細やかな臨時交付金 5,000千円 (国)H21→22 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 95,199千円 (そ) 諸収入 345千円 (そ) 繰越金 36,071千円
	国庫支出金		99,944	100,200		
	県支出金					
	起債					
	その他			36,416		
	一般財源		71,074	24,002	30,200	
計 (A)		171,018	160,618	30,200		
正規職員所要時間			700			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			2,503			
トータルコスト A+B			163,121			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 保育要望は多様化しており、改修が必要な箇所が多くなっている。 年々老朽化が進み、修繕の必要性が増加している。 特にトイレの水洗化は時代の要請であり、良好な環境を整備するために行わなければならない。 老朽化した施設の整備について、自治会、保護者会からの要望は非常に強い
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを育てやすい社会環境の充実	施策の成果指標又はムトス指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・リニューアル、耐震化工事することで、園児たちが安心、安全かつ快適に生活できるようになり、保護者等安心して子どもを預けることができるようになった。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・園や建築担当の職員と何度も協議することで、費用対効果を高めることができた。		
	後期に向けた課題	・引き続き、実施していく。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・協議する中で、真に必要なもの、後の維持管理費等を考慮した。		
	後期に向けた課題	・引き続き、実施していく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	・木造の園舎(5園)の耐震化やにリニューアル工事(山本、中村)等を実施することで、園児を取り巻く環境は大きく向上した。		
	後期に向けた課題	・計画的に整備していく必要がある。 ・民営化の進捗に併せて整備していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------